

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	1	計画的な都市整備の推進		
単位施策名称	3	住環境の向上		
	施策の方向性	●ゆとりある住まいづくり、安心して暮らせる住まいづくり、快適に暮らせる住まいづくりを実現するため、住宅施策を推進します。 ●公営住宅を適切に配置することにより、住宅困窮者の住みよい環境づくりを進めます。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	住宅の用に供する建築物着工件数（改築を含む）	件	目標値		192	196	201	205	210
			実績値	187	188	169	201		
			達成状況		未達成	未達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

民間建築物の着工件数の増加等により、実績値は目標としていた着工件数となり、目標値達成となりました。

・評価及び対応方針

引き続き、住環境の向上のための住宅施策を実施し、目標達成を維持していきます。

作成担当部長 建設部長 井上 貴文

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値を達成しています。未達成の事務事業に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	住環境改善事業	949
		2	土砂災害等対策事業	0
		3	急傾斜地崩壊対策事業	31,842
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	住宅一般事務事業	637
		2	町営住宅維持管理事業	5,680
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				39,108

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	住環境改善事業	事業番号	413101
担当部署名	建設部	建築課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3 住環境の向上		

2. 事業概要

良好な居住環境の形成を図るため、木造住宅の耐震診断・改修やリフォームを行う費用の一部を補助します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
- 旧耐震基準の木造一戸建て住宅を耐震診断する費用の一部を補助します。（補助件数5件） - 旧耐震基準の木造一戸建て住宅の耐震改修工事を行う費用の一部を補助します。（補助件数1件） - 一戸建ての住宅に居住する子育て世帯がリフォーム工事を行う費用の一部を補助します。（補助件数3件）	- 木造住宅耐震診断補助事業について、補助金の交付を1件行いました。 - 子育てあんしん住宅リフォーム支援事業について、補助金の交付を3件行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	府中町住宅マスタープランの策定	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100	-	-		
			達成状況	達成	-	-		
②	府中町耐震改修促進計画の策定	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100	-	-		
			達成状況	達成	-	-		
③	実施計画期間中の事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	1.3	26.0	51.0	75.0	100
			実績値	0.9	4.0	22.9		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		①②計画策定が目的のため、計画の策定を指標としました。③事業全体の進捗状況を把握するため、事業進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,494	655	0	0	0	839
決算	949	402	0	0	0	547

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

子育て世帯向け住宅リフォーム補助件数については、計画どおりの件数を達成しましたが、耐震関係の補助件数の実績値が低かったことにより、全体としては目標値未達成となりました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

災害に強いまちづくり、子育て世帯が安心して定住できるまちづくりを進めていくため、継続して事業を実施していく必要があります。子育て世帯向け住宅リフォーム補助については、制度利用件数を維持できるよう引き続き周知等について積極的に取り組みます。また、耐震関係の制度の利用率向上に向けて、周知方法の改善や近隣市町の動向を参考に事業展開に取り組みます。

作成担当課長

建築課長 川口 正幸

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

事業の一部は計画どおり実施できましたが、実施が未達成なものもあったため、全体としての実績値が低くなりました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

安全で安心なまちづくりと、子育て世帯の定住を進めていくため、継続して事業を実施していく必要があります。計画未達成の制度については、制度利用の促進に取り組みます。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成であるうえ、目標値到達率は60%を下回っています。事業は継続するものの、分析内容を念頭に、対応方針に沿った見直しを実施することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	土砂災害等対策事業	事業番号	413102
担当部署名	建設部	建築課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3 住環境の向上		

2. 事業概要

土砂災害から生命財産を守るため、住宅改修等を行う費用の一部を補助します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 土砂災害特別警戒区域内にある住宅について、土砂災害に対する構造耐力上の安全性を有する改修工事を行う費用の一部を補助します。（補助件数1件） ○ 土砂災害特別警戒区域等の危険な区域にある住宅の除却や移転を行う費用の一部を補助します。（補助件数1件）	○ 建築物土砂災害対策改修促進事業及びがけ地近接等危険住宅移転事業について、広報やホームページを活用して周知を行い、平成30年7月豪雨災害の被災者に対して制度に関する相談を受け付けました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	補助件数	件	目標値	-	2	2	2	2
			実績値	-	0	0		
			達成状況	-	未達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		レッドゾーン指定地区の住宅所有者の安全確保を促すため、補助件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,711	2,855	1,426	0	0	1,430
決算	0	0	0	0	0	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

平成30年7月豪雨災害後、制度に関する相談は増えてきましたが、申請がなかったため、実績値は低くなりました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

土砂災害特別警戒区域内に居住する住民の安全を守ることを目的とした事業であるため、継続して実施していく必要があります。しかしながら、実績はいまだ0件であることを踏まえ、近隣市町の動向を参考にするなど、制度利用の促進に向けて引き続き事業展開に取り組めます。

作成担当課長

建築課長 川口 正幸

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

前年度に比べて相談件数は増えたことから、制度の認知度は上がってきているものの、申請がなかったため、実績値としては低くなりました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

土砂災害特別警戒区域内に居住する住民の安全を守るため、事業を継続して実施する必要があります。引き続き、補助制度利用の向上に取り組めます。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成であるうえ、目標値到達率は60%を下回っています。事業は継続するものの、分析内容を念頭に、対応方針に沿った見直しを実施することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	急傾斜地崩壊対策事業	事業番号	413103
担当部署名	建設部	都市整備課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1: 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3: 住環境の向上		

2. 事業概要

急傾斜地崩壊対策事業施行要望に基づき、宮の町三丁目地区の法面崩壊対策工事を行います。
--

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 土砂災害から人命・財産を守るため、法面崩壊対策工事を行います。 ・宮の町三丁目地区 1か所	○ 土砂災害から人命・財産を守るため、平成30年度から令和2年度にかけて、法面崩壊対策工事を実施する計画のうち、平成30年度分工事を計画どおり行いました。 ・宮の町三丁目地区 1か所

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	急傾斜地崩壊対策箇所（累計）	箇所	目標値	-	1	1	1	1
			実績値	-	0	0		
			達成状況	-	未達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		住民合意のもと行う事業のため、想定箇所数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	38,800	0	15,520	15,500	7,760	20
決算	31,842	0	11,250	14,200	6,368	24

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

目標値未達成ですが、平成30年度から広島県急傾斜地崩壊対策事業補助金を活用して、宮の町三丁目地区の法面崩壊対策工事に着手しています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

災害の未然防止のため、早期完成を目指し、工事を行います。

作成担当課長

都市整備課長 磯亀 智

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

目標値未達成ですが、平成30年度から計画地区の法面崩壊対策工事に着手しています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

土砂災害から人命・財産を守るため、事業を継続し、引き続き法面崩壊対策工事を行います。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	該当箇所の工事は計画どおり実施できています。引き続き関係者と協議しながら、計画的に事業を進めていくこととします。